

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年6月

(平成20年5月末調査)

平成20年6月13日  
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【4月】	諏訪公共職業安定所管内 ※1	1.28 倍	△0.01 ポイント
手形交換高【5月】※2 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	8,622 枚	△6,320 枚
	金 額	11,626 百万円	△10,561 百万円
	うち	0 枚	△6 枚
	不渡り発生状況	0 千円	△4,860 千円
自動車販売【5月】 (諏訪地方合計)	車庫証明取扱件数 (普通車)	1,019 件	△6.9 %
	軽自動車販売台数	303 台	△23.9 %
新設住宅着工件数【20年4月】(諏訪管内)		209 戸	+20.1 %

※1：平成20年4月分より諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となりました。

※2：前年同期比が大きく減少しているのは、前年との休日のズレによるものです。

## 地域の概況

### ●製造業

自動車部品の下請企業の受注状況はメーカーや加工部品により区々であり、ハイブリット車やディーゼルエンジン関係などで繁忙のところもみられるが、総体では減少しており北米市場の動向から今後の生産調整を危惧しているところもある。デジタル一眼レフカメラ関連企業の受注は総体では堅調であるものの、メーカーにより発注状況は区々で一部に弱含み感もきかれる。工作機械では自動車関連向けは概ね堅調であるが、他分野での受注の遅れや今後の設備投資動向への警戒感がきかれる。半導体やプリント基板は、年明けからの在庫調整が一巡し今後の生産は上向くとの見方がある。

原材料や燃料価格等が高止まっているなかで、受注単価に転嫁できている下請企業は一部に留まっていることから各社の収益性は悪化している。生産・受注状況は一部に堅調に推移しているとする企業があるものの総体では減少傾向にあり、地域製造業の業況は引き続き減速感がみられる。

### ●商業

諏訪地方の5月の天候は、上旬に気温の高い日が多かったものの、中旬以降は寒気の南下に伴い気温が低下し降水量も多くなるなど寒暖の差が大きくなった。

生活必需品である食品価格やガソリン価格の相次ぐ値上げなどから消費マインドは低下しており、衣料ではファッション衣料の動きが弱く、寝具や食器などの住居関連商品の動きも弱含んでいる。また、薄型TVの売れ行きは消費マインドの低迷と更なる価格低下への期待感から、北京オリンピック効果を見込んだ販売計画ほどは伸びてはいないという声が多く、自動車販売は4月に暫定税率の失効による駆け込み需要があった反動から、再び前年同月比で減少した。長野県企画部の調査（6月9日付）では、諏訪地方のガソリン価格は171円と前回調査（5月12日）より10.7円上昇している。

## ●観光業

5月のゴールデンウィーク後半は比較的天候に恵まれたものの、入り込み客や宿泊客は曜日配列の関係から前半の2日間に集中した。また、ゴールデンウィーク明けの入り込み客は昨年に比べ低調となり、ガソリン価格の高騰による首都圏からの入り込み客の減少を懸念する見方が多い。

上諏訪温泉の宿泊客数は、前年並みを確保したホテル旅館があるものの総体では前年同月比10%~20%程度減少した模様で、蓼科・白樺湖・車山方面はゴールデンウィークの入り込みは良好だったものの、その後の週末は昨年に比べ低調となった。

地域のホテル旅館の宿泊客数や入り込み客数は、NHK大河ドラマ「風林火山」や大手旅行代理店の信州キャンペーンの好影響があった昨年に比べ総体では減少しており、地域を挙げて諏訪大社に伝わる「鹿食免」や「インバウンド（訪日外国人旅行）」による集客への取り組みを行っている。

## ●建設業

市町村の5月の発注工事は、建築工事7件77百万円、土木工事・下水道工事37件226百万円、その他工事21件147百万円の合計65件451百万円で、前年同月比では△13件、△13百万円の減少となった。

県関係の5月の公共工事（地元業者受注分）は6件144百万円で、平成20年4月~平成20年5月の累計契約額は8件181百万円と前年同期累計比では△2件、△204百万円の減少となっている。

民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工件数は209戸で、利用関係別では「持家」が幾分減少したもののマンション等の「分譲」が44戸あり、前年同期比では35戸の増加となっている。

## ●雇用

諏訪地域の4月の有効求人倍率は、1.28倍と全国（0.93倍）及び長野県（1.13倍）を上回っている。また、諏訪地域の4月の新規求人（全数）は1,710人で前月比373人の増加、前年同月比38人（+2.3%）の増加となっている。また、新規求職者数は1,178人で前年同月比51人（+4.5%）の増加となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降55ヶ月連続して1倍を上回っているものの、昨年10月より7ヶ月連続して前年同月比を下回っている。

※平成20年4月分より諏訪公共職業安定所の公表数値は、諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となっております。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、年明けからの在庫調整が一巡し今後の生産は上向くとの見方がある。
コンデンサー	自動車向けは安定しており、インバーター関連は増加見通しである。
プリンター	大型プリンター、サーマルプリンターの受注は横這いの状況である。
コンダクター・リレー	受注は安定している。

### 2. 輸送用機械

自動車	受注状況は加工部品により区々であり、ハイブリット車やディーゼルエンジン関係などで繁忙のところもみられるが、総体では弱含みの状況となっている。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーの海外生産の影響もあり、下請企業の受注は弱含みで推移している。
船外機	下請企業の受注は幾分落ち着いている。

### 3. 一般機械

工作機械	自動車関連は概ね堅調であるが、他分野での受注の遅れや今後の設備投資動向への警戒感がきかれる。
専用機・省力機器	足元の受注は横這い状況であるが、半導体関連向けなどの先行きに不透明感がきかれる。
搬送用機械	デジタル家電企業や食品関連企業からの受注は堅調である。
金型	医療機器や電機関係で新規受注の動きもみられるが、総体では幾分弱含みとなっている。
アルミダイキャスト	取扱い製品により受注状況は区々となっている。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの4月の生産台数は1,177万台で、前月比19.1%増、前年同月比39.2%増となっている。4月の出荷台数は国内出荷104万台、海外出荷1,036万台で、出荷台数全体では前月比3.1%増、前年同月比31.9%増となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。) デジタル一眼レフカメラ関連企業の受注状況は総体では堅調であるものの、メーカーにより発注状況は区々で一部に弱含み感もきかれる。
---------	--

プロジェクター メーカーの販売状況は堅調であるが、海外生産比率の高まりから国内での部品加工やアッセンブリーは減少している。

レンズ ガラスレンズの生産拠点は海外が主体となっており、国内の生産規模は縮小している。

## 5. 織 維

ニット 夏物の生産から秋冬物への端境期となっている。専門店の売れ行きが低調となっており、今後の天候や消費マインドの低下が懸念材料となっている。

## 6. 食 品

寒天 国産品の人気が高まっており昨年よりも荷動きは良い。また、地元向けの売上げも増加している。

味噌 大豆等の原材料価格の高騰により商品価格の値上げを行ったが、コストアップ分全額の転嫁は難しく収益性の改善までには至っていない。

## 7. 製 材

諏訪地方の4月の木造住宅着工件数は139戸で前年同月比36戸増加した。木材の価格は需要の弱含みにより幾分下がっているが、外材や断熱材などは原材料価格の上昇から値上がり傾向にある。

## 8. 建 設

公共工事 5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所3件、林道治山工事関係2件、その他1件の合計6件、契約金額144百万円となっている。平成20年4月～平成20年5月の累計契約は8件181百万円で前年同期累計比では△2件、△204百万円の減少となっている。

市町村の5月の発注工事は、建築工事7件77百万円、土木工事・下水道工事37件226百万円、その他工事21件147百万円の合計65件451百万円で、前年同月比では△13件、△13百万円の減少となった。

民間工事 諏訪地方の4月の新設住宅着工件数は209戸で、利用関係別では「持家」が幾分減少したもののマンション等の「分譲」が44戸あり、前年同期比では35戸の増加となっている。

## 9. 商 業

諏訪地方の5月の天候は、上旬に気温の高い日が多かったものの、中旬以降は寒気の南下に伴い気温が低下し降水量も多くなるなど寒暖の差が大きくなった。

生活必需品である食品価格やガソリン価格の相次ぐ値上げなどから消費マインドは低下しており、衣料ではファッション衣料の動きが弱く、寝具や食器などの住居関連商品の動きも弱含んでいる。また、自動車販売は4月に暫定税率の失効による駆け込み需要があった反動もあり、前年同月比で減少している。長野県企画部の調査（6月9日付）では、諏訪地方のガソリン価格は171円と前回調査（5月12日）より10.7円上昇している。

衣料	カジュアル衣料や実用衣料の売れ行きは安定しているが、ファッション衣料の動きは弱い。
食料品	商品単価の上昇により消費者が購入点数を抑えており、売上高は横這いとする店舗が多い。チラシによる価格比較や店舗ごとの特売日に合わせ購入店舗を変える消費行動がみられる。
家電製品	夏のボーナス商戦前で売れ行きは低調な時期である。消費マインドの低迷と更なる価格低下への期待から、薄型TVの売れ行きは北京オリンピック効果を見込んだ販売計画ほど伸びていないという声が多い。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた5月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,019台で前年同月比△76台（△6.9%）の減少となった。また、軽自動車の販売台数は303台で前年同月比△95台（△23.9%）となった。
ホームセンター	引き続き家庭菜園やプランター用の野菜苗の売れ行きが良い。

## 10. 観 光

5月のゴールデンウィーク後半は比較的天候に恵まれたものの、入り込み客や宿泊客は曜日配列の関係から前半の2日間に集中した。また、ゴールデンウィーク明けの入り込み客は昨年に比べ低調となり、ガソリン価格の高騰による首都圏からの入り込み客の減少を懸念する見方が多い。

ホテル旅館の宿泊客数は、NHK大河ドラマ「風林火山」や大手旅行代理店の信州キャンペーンの好影響があった昨年に比べ総体では減少しており、地域を挙げて諏訪大社に伝わる「鹿食免」や「インバウンド（訪日外国人旅行）」による集客への取組みを行っている。

上諏訪温泉	宿泊客数は前年並みを確保したホテル旅館があるものの、総体では前年同月比10%～20%程度減少した模様である。
蓼科・白樺湖・車山	ゴールデンウィークの入り込みは良好だったものの、その後の週末は昨年に比べ低調となった。
下諏訪温泉	宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、前年同月比では幾分減少した模様である。「万治の石仏」へは多くの見物客が引続き訪れている。
諏訪大社	上社・下社合わせた参拝客数は65千人で、前年同月比△6千人の減少となり、「風林火山」放映前の例年の水準に戻っている。

